はじめに

委員会名簿

訪問先及び調査にご協力頂いた方々

第1章	調査研究の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	·1
第2章	今後の方向性に関する提言	3
1. 萛	草の権利者の救済に関する基本的な考え方3	
2. 利	多転請求の考え方8	
3. 利	多転請求を広く認めることに伴う検討事項10	
	出願日遡及制度について27	
5. 多	巻明者の訂正手続について30	
	司則	
7. 匀	実用新案法・意匠法への準用について ······35	
第3章	諸外国の制度	37
Ι.	ドイツ	7
Π .	英国	5
${\rm I\hspace{1em}I\hspace{1em}I}.$	フランス)4
IV.	米国	2
V.	韓国11	7
VI.	その他	9
第4章	制度ユーザーへのアンケート、ヒアリング13	8
Ι.	国内企業等へのアンケート結果概要13	
${\rm II}$.	国内企業等へのヒアリング結果概要13	8
Ш.	結果分析	
資料編		
資料]	1 国内アンケート調査票	5
資料2	2 国内アンケート調査結果17	4
資料:	3 参照条文19	6

本報告書の執筆分担は以下のとおりである。

なお、第2章は、委員会の議論を踏まえて大西委員が執筆したものである。 各報告の内容は、必ずしも委員会全体としての統一見解を示すものではない。

- 第1章 事務局
- 第2章 大西委員
- 第3章 I. アインゼル委員
 - Ⅱ. 飯田委員
 - Ⅲ. 飯田委員
 - IV. 出野委員
 - V. 事務局
 - VI. 事務局
- 第4章 事務局

また、国内アンケート票作成にあたっては、深津委員に多大なご協力をいただいた。